

# 芸閣

～図書館だより～

第6号  
2019年10月  
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。  
書庫、書斎という意味です。  
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



おかえり、  
しおり  
葉の場所で

待ってるよ (今年の読書週間の標語です)

10月27日～11月9日は読書週間です。  
秋の夜長に、ゆっくり読書をしてみませんか。



9/11(水)・12(木)

## 文化祭の報告

文化祭初日、私たち図書館では豆本づくりをしました。そもそも豆本とは、掌に収まる程度の、その名の通り「豆」のように小さな本のことです。豆本の起点となった西洋では、「聖書」などの肌身離さず持っていた大切な本が豆本となる傾向にあったようです。

文化祭でも、自分用につくって中のページに大切な思い出を書き記すという方や、大切な誰かのためにつくるという方など、たくさんの方が豆本づくりにいらっしゃいました。私自身も初めて豆本をつくったのですが、この文化祭が大切な思い出の1ページ目になりそうです。

1年 天野

文化祭2日目、図書館では古雑誌販売を行いました。1冊10円で販売した古雑誌の売れゆきは良く、前半は生徒の皆さんが好きなアイドルや俳優を求めて、後半は先生方や保護者の方々が買ってください、ほとんどの古雑誌が売れました。売り上げは1,440円で、全額を令和元年台風15号千葉県災害義援金として寄付させていただきました。購入してくださった方、足を止めてみてくださった方、ありがとうございました。

2年 中嶋

# 新着図書の紹介

## 日本文学

『ここに響く方丈記 鴨長明さんの弾き語り』

木村耕一 著 1万年堂出版

『こころきらきら枕草子 笑って恋して清少納言』

木村耕一 著 1万年堂出版

## 自然科学

『恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ』

小林快次 著 新潮社

『王家の遺伝子 DNAが解き明かした世界史の謎』

鎌田浩毅 著 講談社

『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』

安藤泰至 著 岩波書店

## 進路

『栄養学部 中高生のための学部選びガイド』

佐藤成美 著 ぺりかん社

『外国語学部 中高生のための学部選びガイド』

元木裕 著 ぺりかん社

## 小説

『てんげんつう』 畠中恵 著 新潮社

『119』 長岡弘樹 著 文藝春秋

『クジラアタマの王様』 伊坂幸太郎 著 NHK出版

『箱庭図書館』 乙一 著 集英社

『引っ越し大名三千里』 土橋章宏 著 角川春樹事務所

『モナミは世界を終わらせる？』

はやみねかおる 著 KADOKAWA

『この恋は世界でいちばん美しい雨』

宇山佳佑 著 集英社

## 社会科学

『ケーキの切れない非行少年たち』

宮口幸治 著 新潮社

『介護職がいなくなる』 結城康博 著 岩波書店

『あなたは何で食べていますか？』

有北雅彦 著 太郎次郎社エディタス

## その他

『ころべばいいのに』

ヨシタケシンスケ 著 ブロンズ新社



## 2019年4～9月貸出冊数

